

1. 学校の沿革

昭和54年	12月19日	社会福祉法人健祥会設立認可（厚生省社第1113号）される。
昭和60年	6月28日	理事長に中村博彦就任
平成7年	6月16日	徳島健祥会福祉専門学校起工式举行
平成8年	4月1日	厚生省より介護福祉士養成施設として指定される。 日本レクリエーション協会よりレクリエーション・インストラクター養成課程認定校として認可される。 学校長に碓井俣司就任
平成8年	4月6日	開学式及び平成8年度入学式举行
平成10年	3月14日	東館竣工式举行
平成10年	4月1日	介護福祉学科定員80名から120名に増員
平成12年	4月1日	理学療法、作業療法学科の開設を厚生省より認可される。
平成12年	4月8日	理学療法、作業療法学科新校舎・学生会館竣工式举行
平成15年	4月1日	学校長に齋藤史郎就任
平成15年	11月8日	多目的ホール健祥会パートナー竣工式举行
平成21年	4月1日	保育福祉学科開設
平成21年	4月1日	離職者訓練事業受託
平成21年	9月9日	インドネシア教育大学と学術提携
平成22年	3月14日	健祥会ステーション徳島竣工
平成22年	4月10日	EPA協定によるフィリピン就学生入学
平成25年	4月1日	介護福祉士実務者研修（通信）開設
平成25年	8月12日	理事長に中村太一就任
平成26年	4月1日	学校長に武田英二就任
平成28年	4月1日	保育学科開設 介護福祉学科定員120名から80名に変更

2. ビジョン

心と心が繋がる介護、保育、医療を提供し、豊かな人生と心が満たされる社会を実現する。

3. 教育方針

徳島健祥会福祉専門学校「福祉は人 人は心」の教育理念のもとに、次の教育方針を掲げる。

礼儀と感謝を実践し、介護、保育、医療の知識・技術を知恵に変えることができる実践力を有し、ダイバーシティの観点を持った『心と心を繋ぐ人財』を育成する。

- (1) 礼儀と感謝を実践できる人とは、正しい生活習慣を身に付け相手に対して尊敬の念をもって接することができる人。
- (2) 知識・技術を知恵に変える実践力を持っている人とは、知識・技術を統合・応用し、現場のニーズに合わせて協働しながら実践できる人。
- (3) 心と心を繋ぐことができる人とは、多様な人と他者の心を理解して、尊厳を守りながら、双方向のコミュニケーションを図れる人。

本校は、「福祉は人 人は心」の理念のもとに、高度化する介護・保育・医療を通じて人々の

健康と幸福に資することができる実践能力を有し、広く優しい心を持った専門職（介護福祉士、保育士、幼稚園教諭、社会福祉士、理学療法士、作業療法士）を養成する。

4. 校訓

初めに意志ありき
観察眼を養え
問題提起力を持て
そして労を惜しむな

5. 教育理念

「福祉は人 人は心」

6. 建学の精神

「福祉は人 人は心」の理念を体得し、グローバルな視点を持った
「礼儀と感謝」を実践する福祉と医療のスペシャリストを養成する。

7. ブランド

「心と心を繋ぐ現場力」（健祥会スタンダード）

8. ミッション

人間の尊厳を守る “心と心が繋がる医療福祉社会” を実現する。

9. 各学科の人財育成方針、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー
及びディプロマポリシー

介護福祉学科

<人財育成方針>

「福祉は人 人は心」の理念を体得し、「学問・技術・道徳」に秀でるトータルな人間を育成し、
介護現場で即実践力となり得る高度な専門的知識・技術を身に付けた人財を育成する

<アドミッション・ポリシー>

- ・豊かな感性を持ち、対人援助にふさわしい人
- ・介護福祉士に必要な知識・技術を学ぶことへの意欲がある人
- ・福祉分野に強い関心がある人

<カリキュラム・ポリシー>

<人間力>

- ・介護福祉士に必要な知識・技術を習得するために、「人間・社会の理解」、「介護」、「こころとからだのしくみ」の三領域について学び、あらゆる介護場面に対応できる応用力を養うための介護実習への教育を行う

<専門力>

- ・利用者の自立生活を尊重した利用者ニーズに応じた「個別ケア」の実践と、高い倫理性の保持、感性を養う教育を行う

<実践力>

- ・利用者に最適なサービスを総合的に提供できるよう、他の福祉関係者・医療職との協働によるチームケアが実践できる能力を身に付ける教育を行う

<ディプロマ・ポリシー>

<人間力>

- ・利用者との信頼関係を形成することができる感性を持ち、深い洞察力、利用者・家族、チームに対するコミュニケーション能力を身に付け、利用者に対する共感的態度などの豊かな人間性を持つことができる

<専門力>

- ・利用者の基本的人権を尊重する態度を貫く倫理観を持つことができる
- ・専門職として施設・地域を通じた汎用性のある能力を身につけ、社会貢献ができる

<実践力>

- ・身体面だけでなく心理的、社会的支援を重視した尊厳を支えるケアの実践ができる
- ・関連領域の基本的理解や、他の福祉関係者・医療職との協働によるチームケアが実践でき、将来管理職として施設を運営できる

保育福祉学科

<人財育成方針>

「福祉は人 人は心」の理念を体得し、支援の対象者の自己実現に向けて、専門職としての知識・技術を惜しみなく発揮し、他の専門職とも連携・協働しながら課題解決を図り、また、地域や社会の福祉に貢献していくことを使命とする志を持てる保育士・幼稚園教諭・社会福祉士を育成する

<アドミッション・ポリシー>

- ・人が好きで、人のために、自分に何ができるかを考えることができる人
- ・人との出会いを大事にし、人とのつながりを大切にし、協調できる人
- ・目標達成に向けて、自らの可能性を伸ばし、意欲的に取り組むことができる人

<カリキュラム・ポリシー>

保育士・幼稚園教諭・社会福祉士として必要な理論や技術の習得、実習を通して総合的な実践力をもった専門職養成を目標とする教育を行う

<人間力>

- ・倫理・価値観を体得するための社会福祉教育を行う

<専門力>

- ・児童・保護者支援も視野に入れ、課題の背景まで見据えた対応ができる視点と思考力を育成する教育を行う

<実践力>

- ・他の専門職とも連携・協働していくことができる実践力を高める教育を行う

<ディプロマ・ポリシー>

<人間力>

- ・支援の対象者に寄り添う人間力、専門的知識・技術を提供し、実践することができる

<専門力>

- ・地域、社会の福祉に貢献するために、専門性の向上、探求を継続できる
- ・支援の対象者の自己実現に向けて、関係する他の専門職とも連携し、協働することができる

<実践力>

- ・支援の対象者の困りごとや課題解決に向けて、自ら考え主体的に行動し、解決することができる

保育学科

<人財育成方針>

「福祉は人 人は心」の理念を体得し、乳幼児の保育・教育に関する専門的知識・技術を有し、また地域や社会の福祉に貢献していく心と心を繋ぐ人財を育成する

<アドミッション・ポリシー>

- ・人が好きで、人のために、自分に何ができるかを考えることができる人
- ・人との出会いを大事にし、人とのつながりを大切にし、協調できる人
- ・目標達成に向けて、自らの可能性を伸ばし、意欲的に取り組むことができる人

<カリキュラム・ポリシー>

現場に即した実践教育を行い、専門的知識や技術を身に付けた保育士・幼稚園教諭を養成するため、次の方針でカリキュラムを編成する

<人間力>

- ・乳幼児の教育に携わる使命感や責任感・倫理観を身に付けた人間性を養う教育を行う

<専門力>

- ・保育士・幼稚園教諭として必要な基礎的な理論や知識、技術を修得し、実習を通じて実践力の素地を養う教育を行う

<実践力>

- ・実習を通じて総合的な実践力を修得し、自己の実践を省察することができる教育を行う

<ディプロマ・ポリシー>

<人間力>

- ・コミュニケーション能力や協調性・社会性を有し、保育士・幼稚園教諭としての自覚を持ち、「心と心を繋ぐ」保育の実現を目指すことができる

<専門力>

- ・修得した知識や技術を活用しながら保育の現状を理解することができる
- ・乳幼児の発達段階や取り巻く環境、課題を発見し解決することができる

<実践力>

- ・専門職としての知識と技術を身に付け、乳幼児の実態を理解し円滑な支援・指導を行うことができる
- ・乳幼児の教育に携わる使命感や責任感、探究心を持ち、常に自己の保育実践を反省・評価し、改善していこうとする向上心を持ち続けることができる

理学療法学科

<人財育成方針>

「福祉は人 人は心」の理念を体得し、医療と福祉の専門職としての役割と責任を理解するとともに、職場での良好なチームワークを築き、地域社会の期待に応える人間性豊かな理学療法士を育成する

<アドミッション・ポリシー>

- ・人を思いやる心を持ち、人を支援することに労力を惜しまない人
- ・医療と福祉に関心があり、将来、理学療法士として人々の健康と生活を支える役割を果たす意志のある人
- ・素直で明るく、社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を備え、人との信頼関係を築くことができる人

<カリキュラム・ポリシー>

<人間力>

- ・医療と福祉の基礎となる生命倫理はもとより、地域社会で活躍するために必要な人間性を身につける教育を行う

<専門力>

- ・人体の仕組みや病気の成り立ちを理解して、効果的な理学療法ができるように教育を行う
- ・学生の主体的な学習を促すために、実技、演習、実習、グループワーク等を積極的に取り入れた教育を行う

<実践力>

- ・健祥会グループ施設と連携した実践教育を行い、常に理学療法士に求められる専門性を意識した教育を行う
- ・コミュニケーション能力の向上を図り、職場での良好なチームワークを築くことができるように教育を行う

<ディプロマ・ポリシー>

<人間力>

- ・人間の尊厳を理解し、高い倫理観と奉仕の精神を持ち地域社会に貢献できる

<専門性>

- ・理学療法士として必要な専門的知識と技術を有し、医療や福祉の分野で活躍できる

<実践力>

- ・人を支援する専門職の自覚と責任を持ち、職場で良好なチームワークを築き問題解決を行うことができる
- ・医療の進歩や社会の変化に対応し、生涯にわたり学び続けることができる

作業療法学科

<人財育成方針>

「福祉は人 人は心」の理念を体得し、作業療法の知識・技術を有し、保健・医療・福祉、地域の中でリハビリテーションチームの一員として協働でき、人との繋がりを大切にした作業療法士を育成する

<アドミッション・ポリシー>

- ・生命を尊び、人を慈しむ心を持った人
- ・他者の言葉に耳を傾け、様々な価値観を知り、その中で自分の意思を伝えることができる人
- ・作業療法を学ぶ意欲を持ち、努力を継続できる人
- ・ボランティア精神があり、地域社会に貢献できる人

<カリキュラム・ポリシー>

<人間力>

- ・自ら考え行動する力を養うため、学びに対する意味づけや習慣づけとなる実践型学習を取り入れた教育を行う
- ・多様な人や他者との価値調整ができる心を育み、人間性・知性を自ら磨き高める心の教育を行う

<専門力>

- ・医学や作業療法の基本的な思考・知識・技術が修得できる教育を行う
- ・作業療法の専門的な思考・知識・技術を修得でき、「対象者の生活および人生を支える」という視点を科学的に捉える思考過程を構築できるよう教育を行う

<実践力>

- ・臨床実習を通して医療従事者としての自覚を高め、対象者と関わる姿勢や倫理観が確立するような教育を行う
- ・段階的に実習をすすめていくことで作業療法士としての職業アイデンティティの形成を図る教育を行う

<ディプロマ・ポリシー>

<人間力>

- ・作業療法士としての責任感・倫理観・指導力・幅広い世代との対人関係能力を身につけ、適切な行動ができる

<専門力>

- ・作業療法士として必要な医学的・基本的知識と、対象者の疾病や障がい・生活や環境に関する情報収集・観察・評価・治療的介入などの技術を修得し医療・福祉分野で活躍できる

<実践力>

- ・作業療法士としての基本的な思考・問題解決能力・協調性・コミュニケーション能力を発揮することができる
- ・必要とされる知識に対する興味・関心や科学的思考を持ち続け探究することができる

1 0. 平成28年訓

- 一、忘れまい 育てゆきしは 命をあずかる専門職
- 一、思いやろう 上司・部下・同僚の心を
- 一、広げよう 地域社会に果たす役割を

1 1. 平成29年訓

- 一、私がつくる学びの絆
- 一、私がつくる職場の心
- 一、私がつくる地域の温もり

1 2. 平成28年度の学校教育目標

① 教育レベルの向上

- ・教育改善に関する指針の作成
- ・新規カリキュラムの円滑な実施
- ・教育環境の整備・充実（図書、トイレ・学生相談室の改修・ICT）
- ・学生募集のあり方の改善
- ・保育学科の円滑な運営
- ・学生とのコミュニケーションプログラム（話し合い、運動、笑い等）の導入
- ・退学防止のための指導
- ・成績不振者への教育支援
- ・学校敷地内禁煙の徹底
- ・卒後教育の充実
- ・同窓会活動の支援
- ・後援会活動の依頼

② 教員レベルの向上

- ・アクティブ・ラーニングの実施
- ・コーチング研修の実施
- ・教員セミナーの実施
- ・教員の博士学位取得支援
- ・症例検討会の実施
- ・リハビリテーション研究会活動の充実
- ・職能団体及び学術団体での活動の奨励
- ・各種研修会への参加

③ 施設との連携

- ・各学科の各種実習での学生指導連携
- ・施設の夏祭り等行事の学生ボランティア動員

④ 地域貢献活動

- ・高校生の学校訪問の受け入れ
- ・認知症サポーター養成講座の実施
- ・小中高校、公民館、コミュニティセンター等への専門性を活かした出前授業の実施
- ・近隣小中学校の活動支援